

目次

発刊の辞	i
目次	ii
プロフィール	ii
辻川哲朗 近江八幡市・伝「重塚古墳出土品」について	iv
山本一博 後期群集墳横穴式石室についての一考察	iv
—考古学基礎研究メモ⑥—	i
細川修平 古墳時代後・終末期の野洲川中流域	43
雨森智美 近江の井戸	49
近藤広 栗太郡主要古墳の再検討	37
辻川哲朗 近江八幡市・伝「重塚古墳出土品」について	33
高梨純次 石山寺の創建	1
—安曇川を訪ねる—	1
白井忠雄 高島考古紀行	5
佐伯英樹 近江のアメノヒボコ伝承	55
大橋信弥 繼体大王と美濃	61
田中勝弘 古代集落と地域開発(五)	67
栗本政志 近江国府北東部の掘立柱建物	73
松浦俊和 創建期の延暦寺を考える	79
秀平文忠 —一つの軒丸瓦が語る創建の歴史—	84
本田洋 近江の石造玉塔	90
—分類と分布を中心にして—	96
高橋順之 長浜市高畠遺跡出土の石冠	11
木戸雅寿 滋賀県高島市出土「双環柄頭短剣鋲型」私見	17
林純 湖東地方における古墳時代の経済的研究のための予察	23
用田政晴 首長墓の規格と墓道・正面観	29
仲川靖 觀音寺城の石垣構築時期について	29
—兜桶荷古墳の再検討—	29

松下 浩	織田・浅井「同盟」の再検討	127	123
近藤 滋	安土夢想	121	204
小谷 徳彦	水口岡山城と矢川寺	216	198
—同範軒丸瓦と『矢川雜記』—			
下高 大輔	佐和山城と彦根城の主要部分にみる新技術導入試論	221	225
三尾 次郎	—織豊期山城における石垣配置分類の試み—	231	237
谷口 徹	彦根藩井伊家文書の中の四棟の茶屋絵図の所在について	133	139
林 昭男	荒神山に残る寺社石垣の矢穴痕について	150	145
明日 一史	「江州糀迦山百濟寺行者記」による百濟寺の修驗	156	161
田井中洋介	朝鮮人街道沿いの道標	166	172
—『朝鮮人道見取絵図』と現存道標との対応を中心として—			
古川 史隆	善水寺の無銘鐘について	185	193
杉江 進	大久保新田と琵琶湖の漁業	172	178
伊藤 誠之	近世宿駅本陣における「休泊料」	166	185
—東海道土山宿本陣の場合—			
市川 秀之	古川与志継	204	210
永井 晃子	近江の炭焼きと炭窯跡をめぐって	216	221
大塚 活美	水口細工の盛衰	225	231
井上 優	続・社号標の成立について	237	241
梅本 匠	歴史家・小島捨市の自伝史料について	241	245
北原 治	—「我が六十年」翻刻—	245	251
	震災復興と埋蔵文化財	251	257
—腰廻館跡発掘調査を通して感じたこと—			
執筆者一覧	*	*	*